



中川 正先生のご逝去を悼む

平成元年1月号

法学部 平田伊和男



広島大学名誉教授、中川正先生は、去る11月7日逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を捧げます。

先生は、昭和6年に京都帝国大学法学部をご卒業後、台北帝国大学、山口経済専門学校、山口大学にご奉職された後、昭和24年新設まもない広島大学政経学部教授に赴任され、昭和46年3月に停年ご退官を迎えられるまで22年の長きにわたって本学で商法学の教育研究に専念され、現在の法学部の基礎づくりにご尽力下さいました。

また、先生は、日本学術会議会員、評議員、

政経学部夜間学部主事として本学の管理運営の上でも多大の貢献を果たされました。

研究の面では、「独逸保険契約法」「英米流通証券法」等の多くの優れた業績を残され、教育の面でも、深い学識と温かいお人柄で、数多くの人材を各界に送り出されました。

更に、先生は学外におきましても、その学識を生かされ、各種の行政委員会の委員などの数多くの役職を果たされ、国政や県政の面でも多大のご貢献をなさいました。

先生のお人柄を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



武井英雄先生をしのぶ

平成元年1月号

工学部 中佐啓治郎



名誉教授武井英雄先生は、去る11月8日交通事故のため、あまりにも突然に、66歳の生涯を終えられた。

先生は、昭和21年に東京工業大学をご卒業後、工学部の機械系学科において金属の機械的性質、強度・破壊、超塑性加工について研究され、多くの優れた業績をあげられた。研究方針には常に新しい感覚を導入され、事実の解釈には卓抜した直感力を發揮された。

先生は純真で温かく、人間味にあふれ、そして正直なお方であった。日本酒がお好きで、コップ酒を飲みながらよく人生と学問を語ら

れた。時として、聞く者がはっとするような観点からの意見を述べられたが、先生は哲学、宗教、歴史などの本を愛読されていて、広い立場から物を見ておられ、早い時期にある種の悟りを開いておられたように私には思える。最近お宅に書庫を建てられ、今の勤めをやめたら古本屋で集めた本をゆっくり読んで暮らすよと言っておられたが、それももうかなわぬこととなってしまった。訪ねるべき良き師を失って、心の空虚さはなかなか埋められそうもないが、今はただ先生のご冥福をお祈りするのみである。